

### インドネシア国の開発ニーズ

- ポストハーベストロス(コメ収穫後の処理及び品質管理技術不足)
- コメの需給ギャップ(需要>供給)
- 農業の近代化の遅れ

### 提案企業の技術・製品



稲作高付加価値化技術普及

- ①コメ収穫後処理・品質管理技術
- ②商品販売市場形成に関する技術、精米製品の独自販路確保など「稲作の6次産業化」に関する知見

### インドネシア国側に期待される成果

- コメ収穫後の処理及び品質管理の改善によるポストハーベストロスの低減
- コメの需給ギャップの解消と食糧安全の持続可能性確保
- 農業従事者の収入向上

### 普及促進事業の内容

- 本邦受入研修:秋田県大潟村の稲作農業現場・収穫後処理・加工現場の視察、収穫後処理・加工技術トレーニングを実施。
- 現地活動:現地提携先である国営会社及びポゴール農大と連携し、現地政府及び稲作農業関係者向けのセミナーを実施。

### 事業のポイント

米収穫後処理・品質管理及び米加工品生産に関するソフト(=技術・ノウハウ)とその技術の前提となるハード(=機械)を一体として導入する

### 日本企業側に期待される成果

#### 現状

- 国内の米生産・消費市場が縮小していくことを見据え、事業の海外展開の検討を進める必要がある。

#### 今後

- 現地精米・加工工場とのビジネス提携にむけた具体的なビジネス検討及びパートナー選定
- 新たな生産・消費市場の確保